

事業所意識調査結果

I. 調査の概要

1. 調査目的

この調査は、環境基本計画改訂のための基礎資料を得ることを目的として実施しました。

2. 調査対象

調査対象は、江南市全域の事業所200件としました。

3. 調査期間

郵送による配布・回収を行い、平成23年5月30日発送、同年6月13日を提出期限とした。

4. 回収結果

回収結果を以下に示します。

	配布数	回収数	回収率
事業者	200	94	47.0%

5. 報告書の見方

- パーセント表示のものについては、端数処理の関係で合計が100にならない場合もあります。
- 報告書の表、グラフ及び文章等で示した回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略している場合があります。
- 「不明」は無回答及び無効回答を示します。

II. 集計結果

1. 回答者の属性

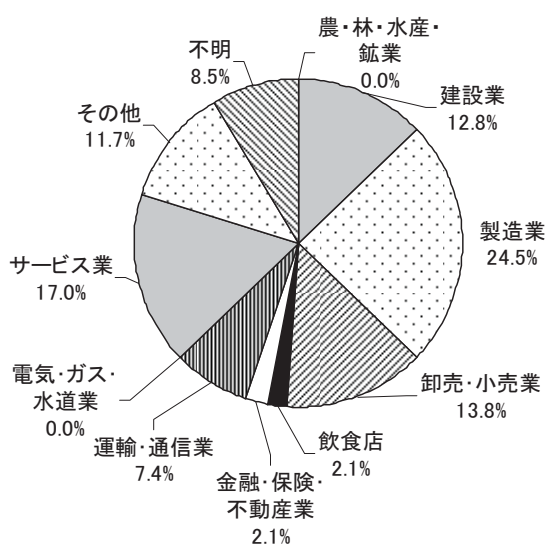
◇業種は、製造業が最も多く24.5%で、次いでサービス業が17.0%、卸売・小売業13.8%の順となっています。

その他の業種としては、医療機関、介護・福祉、建築設計、職業紹介等がありました。

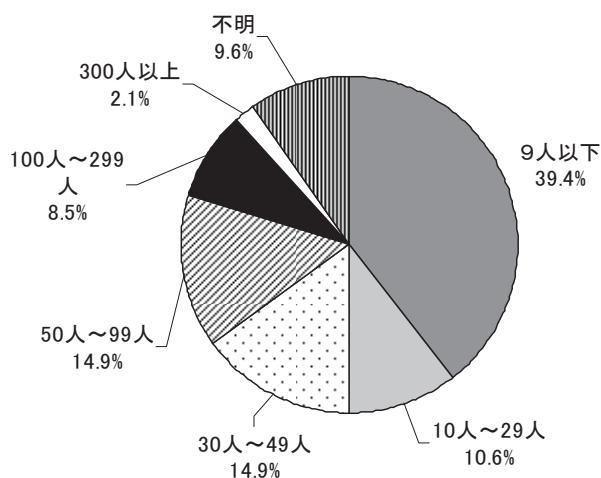
◇従業員数は9人以下が39.4%で、次いで30～49人、50～99人がいずれも14.9%となっています。

◇環境関連法令は、不明を含めるとほとんどの事業者が指定を受けていません。大量のエネルギーを消費するエネルギー管理指定工場もわずかながらあります。

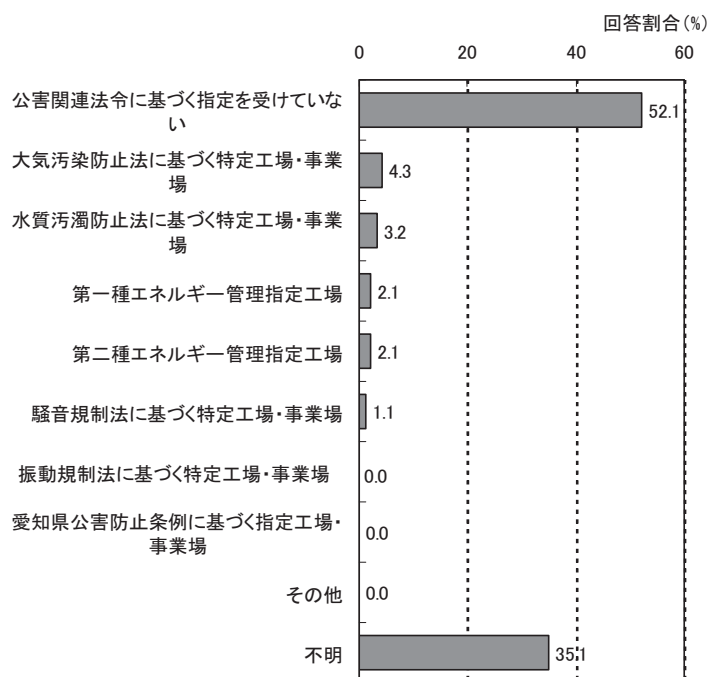
【業種】



【従業員数】



【公害等関連法令指定について】



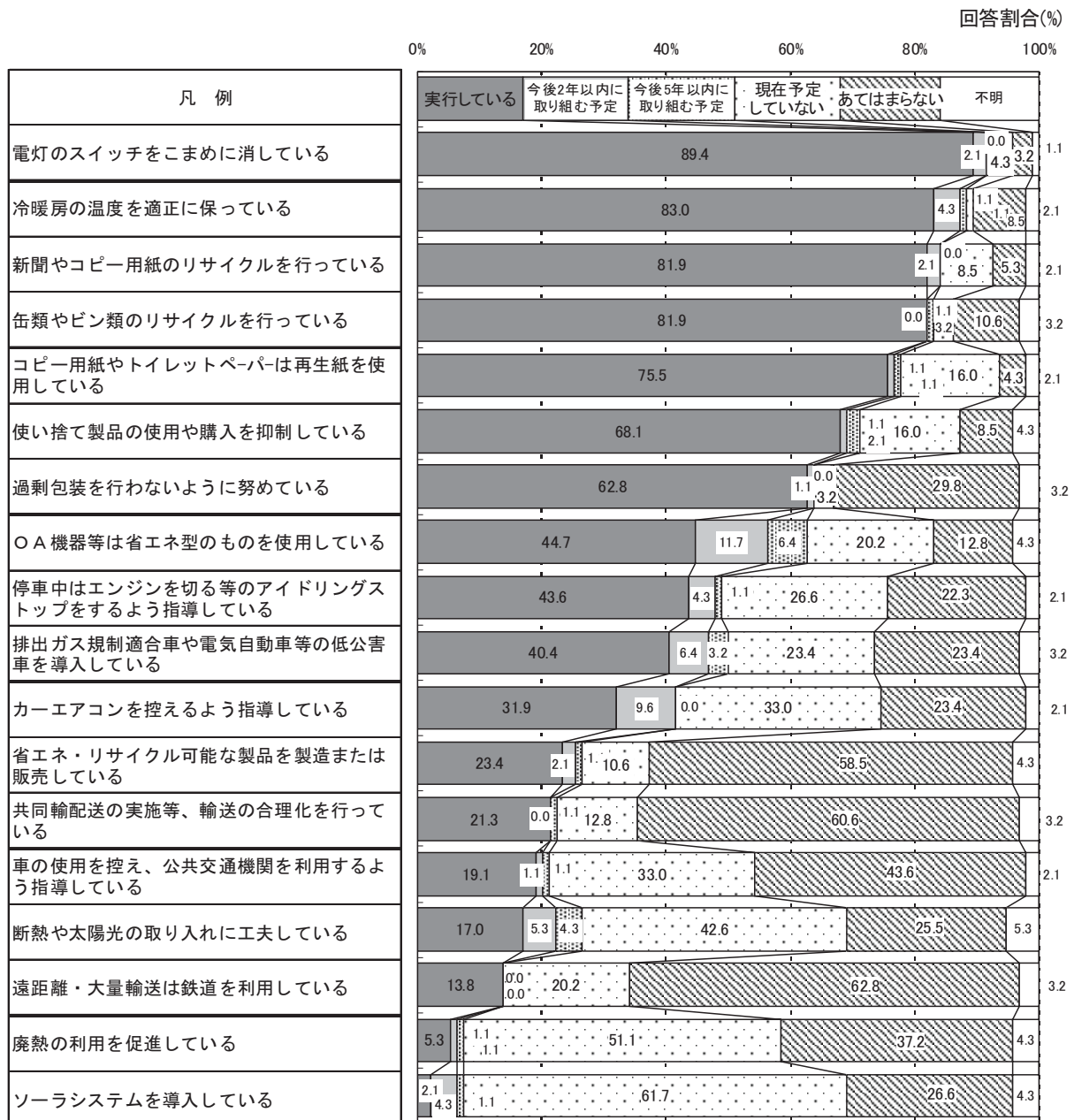
2. 集計結果

問1. 《省エネ・リサイクル等に関する行動について》

よりよい環境づくりのためには、企業・事業者の参加・協力が不可欠です。貴事業所が現在行っている省エネ・リサイクル等に関する行動について、項目ごとそれぞれあてはまる番号に○をつけてください。

◇「実行している」が最も多いのは、「電灯のスイッチをこまめに消している」で89.4%、次いで「冷暖房の温度を適正に保っている」が83.0%、「新聞やコピー用紙のリサイクルを行っている」、「缶類やビン類のリサイクルを行っている」が81.9%でした。

◇「その他」は、「現有の設備を大切に使う（特に自動車）」、「輸送については別会社に委託普及」でした。

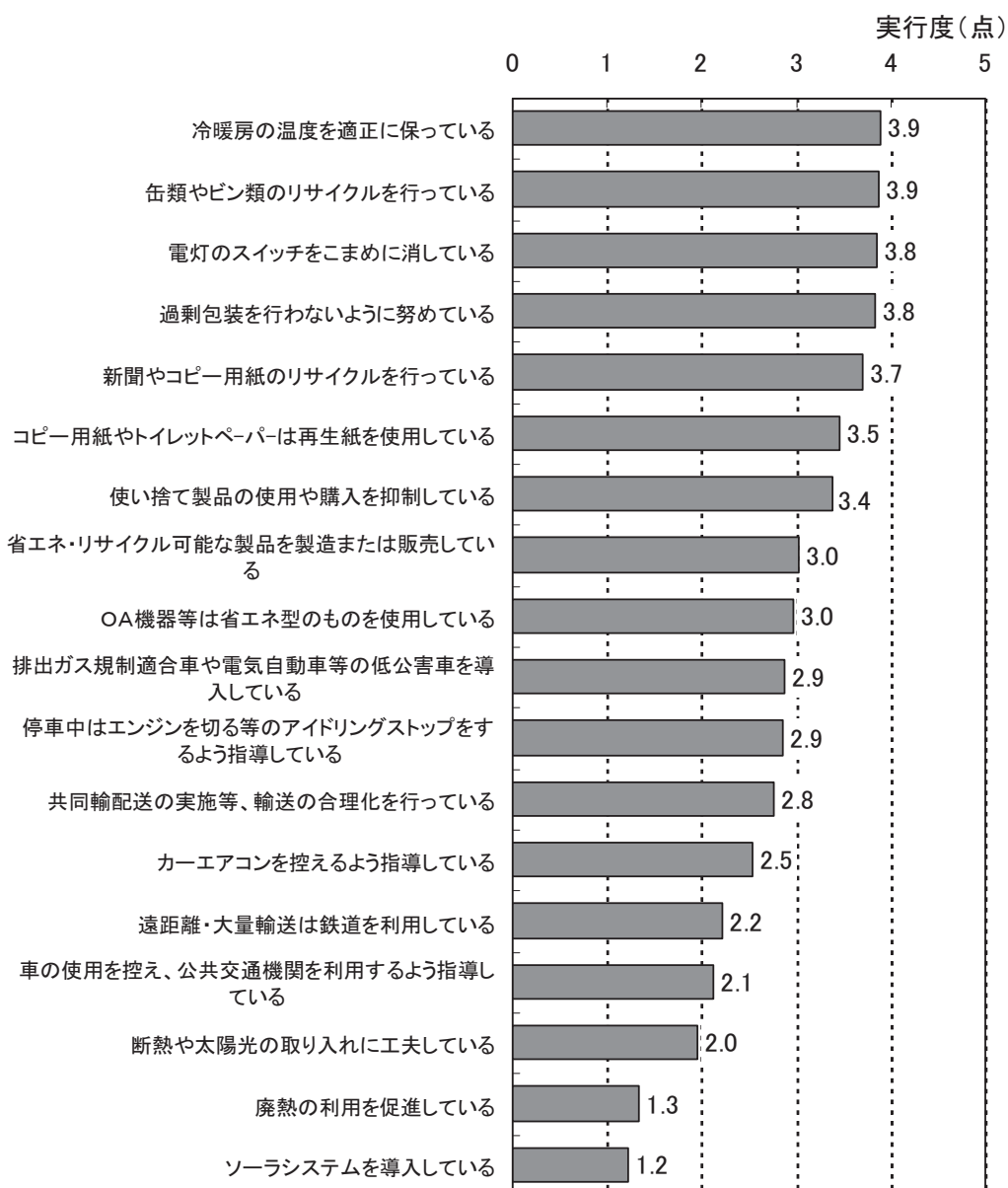


「実行している」＝4点、「今後2年以内に取り組む予定」＝3点、「今後5年以内に取り組む予定」＝2点、「現在予定していない」＝1点として、各項目の取り組み度合いを得点化し、「実行度」として算出しました。

$$\text{実行度} = \{(\text{「実行している」の回答数}) \times 4 + (\text{「今後2年以内に取り組む予定」の回答数}) \times 3 + (\text{「今後5年以内に取り組む予定」の回答数}) \times 2 + (\text{「現在予定していない」の回答数}) \times 1\} \div \{\text{回収数} - (\text{「あてはまらない」回答数}) - \text{不明数}\}$$

◇実行度が高いのは、「冷暖房の温度を適正に保っている」、「缶類やビン類のリサイクルを行っている」でいずれも3.9点、「電灯のスイッチをこまめに消している」、「過剰包装を行わないように努めている」がいずれも3.8点となっています。

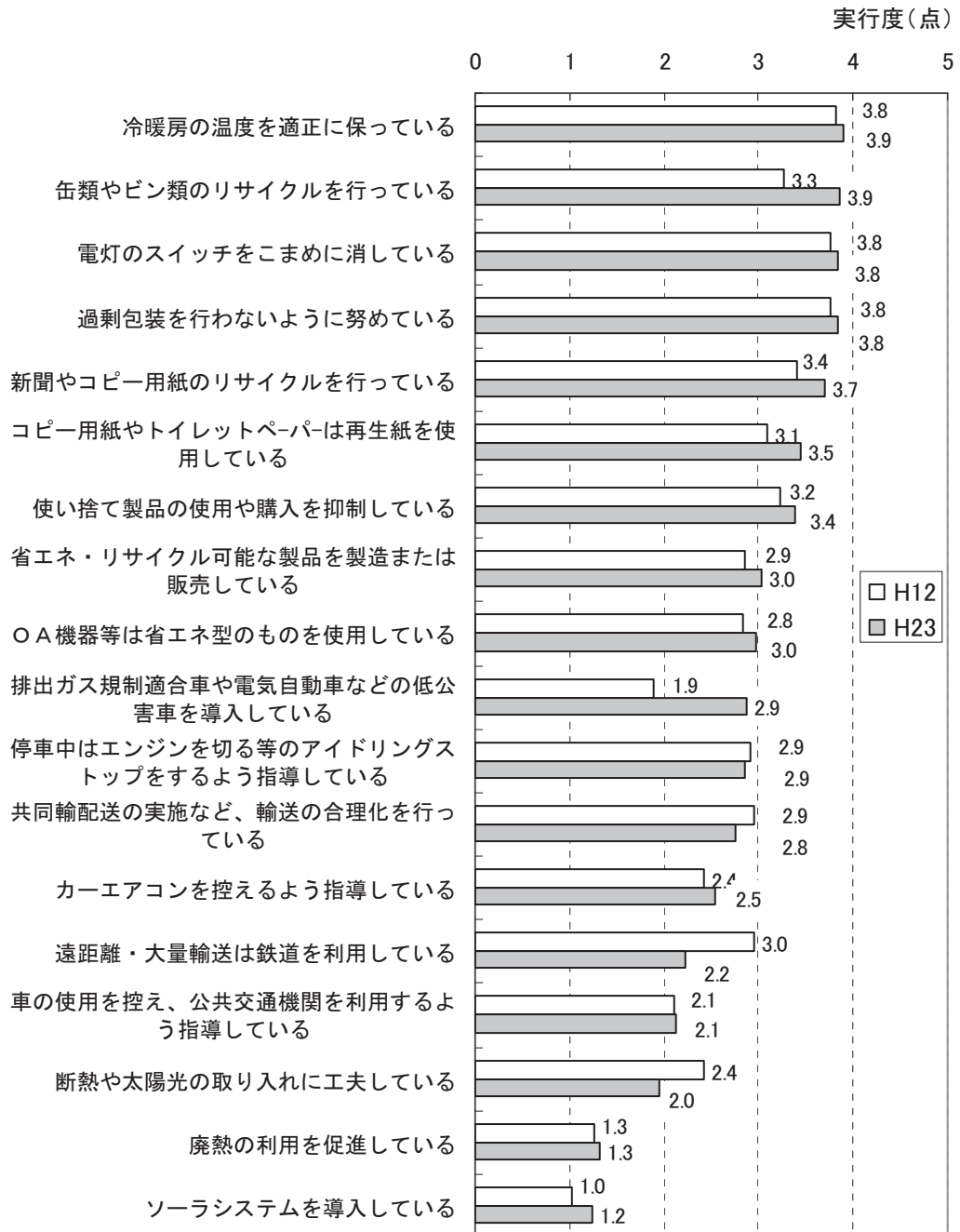
◇実行度が低いのは、「ソーラシステムを導入している」で1.2点、「廃熱の利用を促進している」が1.3点、「断熱や太陽光の取り入れに工夫している」が2.0点となっています。



平成12年に行った意識調査と今回（平成23年）の比較をしました。

◇前回より、実行度が最も高かったのは、「排出ガス規制適合車や電気自動車などの低公害車を導入している」で、次いで「缶類やビン類のリサイクルを行っている」でした。

◇前回より、実行度が最も低かったのは、「遠距離・大量輸送は鉄道を利用している」で、次いで「断熱や太陽光の取り入れに工夫している」でした。

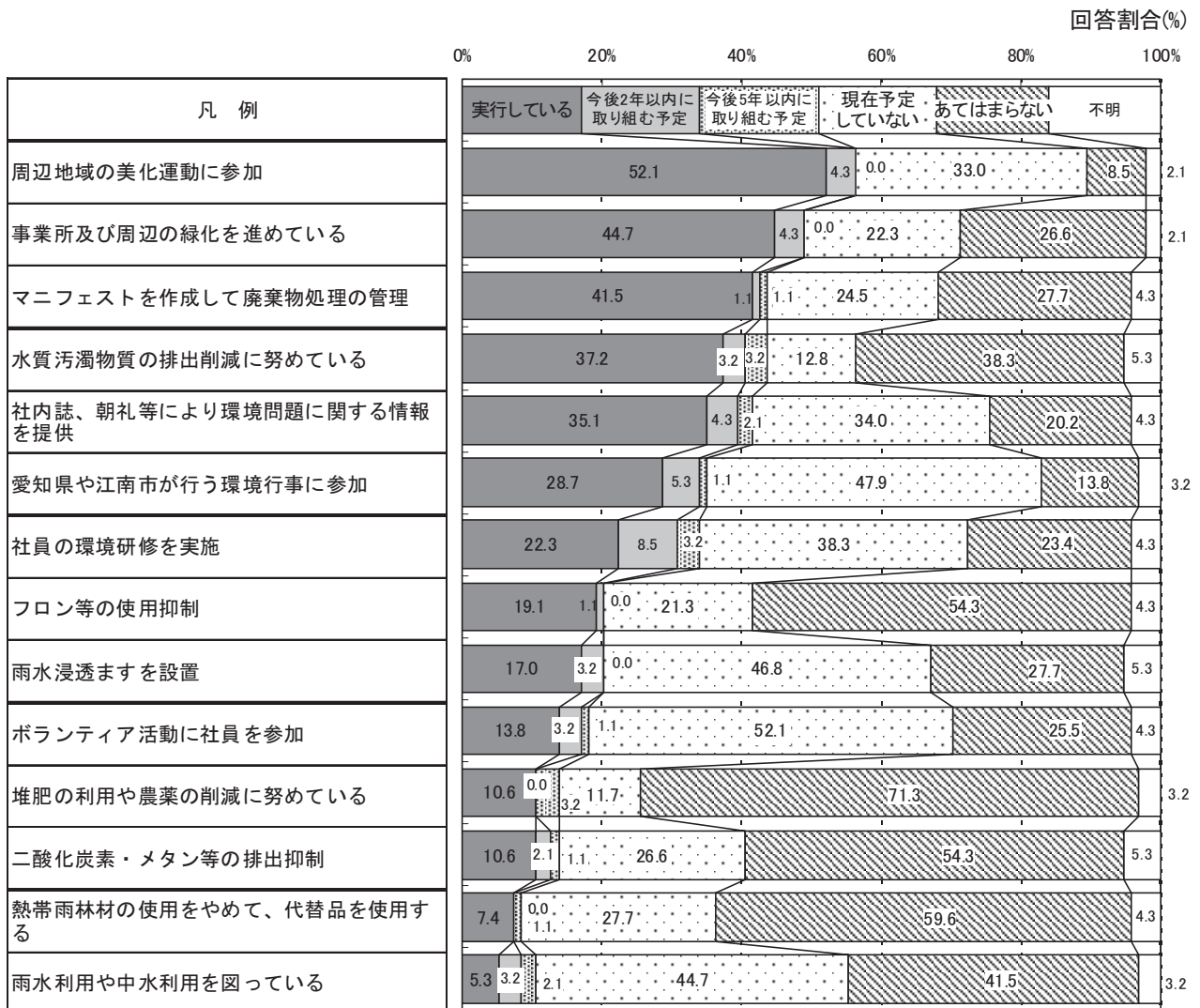


問2. 《社員教育・地球環境問題に関する行動について》

貴事業所が現在行っている社員教育や地球環境問題等に関する行動について、項目ごとそれぞれあてはまる番号に○をつけてください。

◇「実行している」が最も多いのは、「周辺地域の美化運動に参加」で52.1%、次いで「事業所及び周辺の緑化を進めている」が44.7%、「マニフェストを作成して廃棄物処理の管理」が41.5%でした。

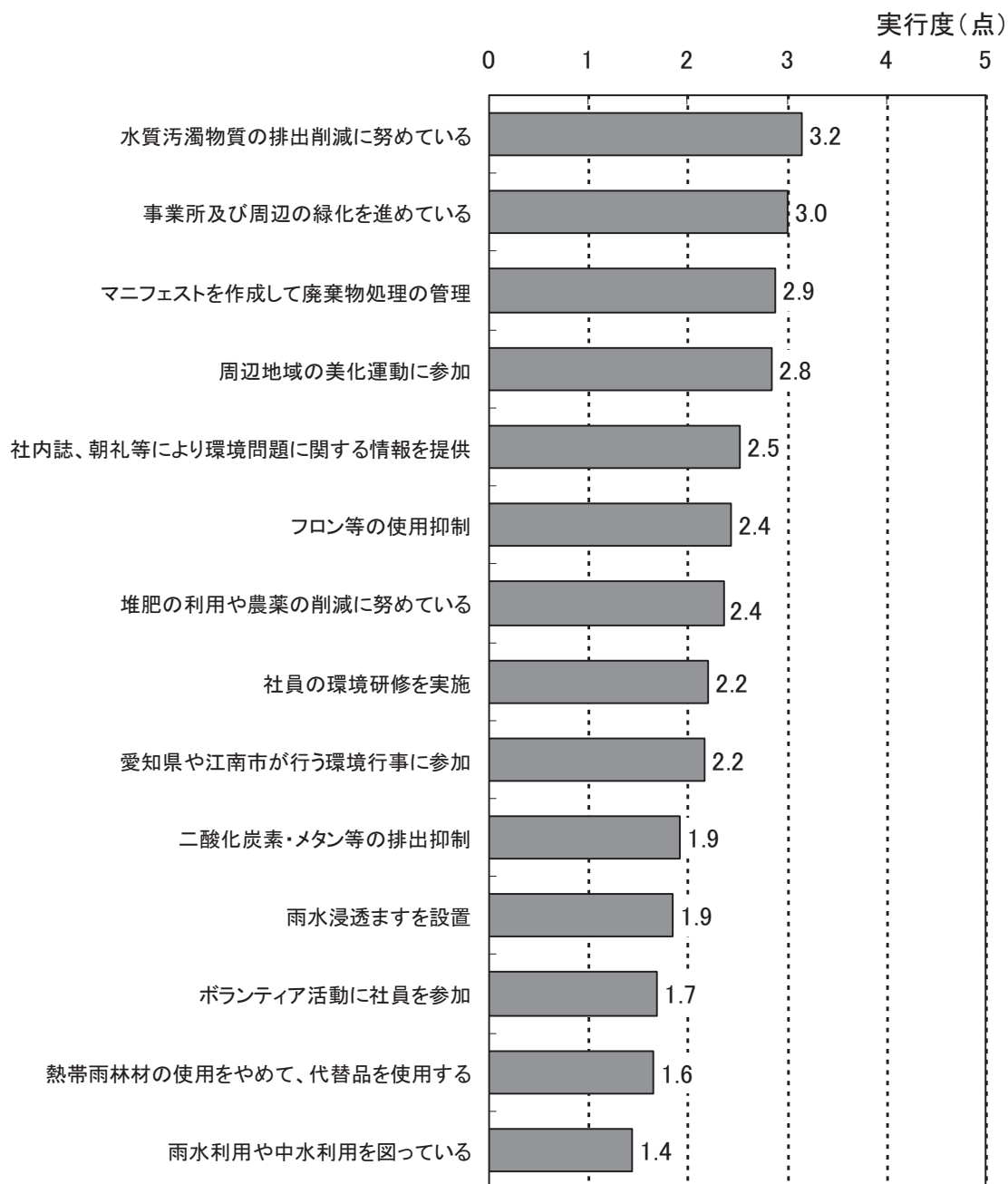
◇「その他」は、エコ箸導入等、割箸の廃止等でした。



各項目の取組み度合いを得点化し、「実行度」として算出しました。

◇実行度が高いのは、「水質汚濁物質の排出削減に努めている」で3.2点、「事業所及び周辺の緑化を進めている」が3.0点、「マニフェストを作成して廃棄物処理の管理」が2.9点となっています。

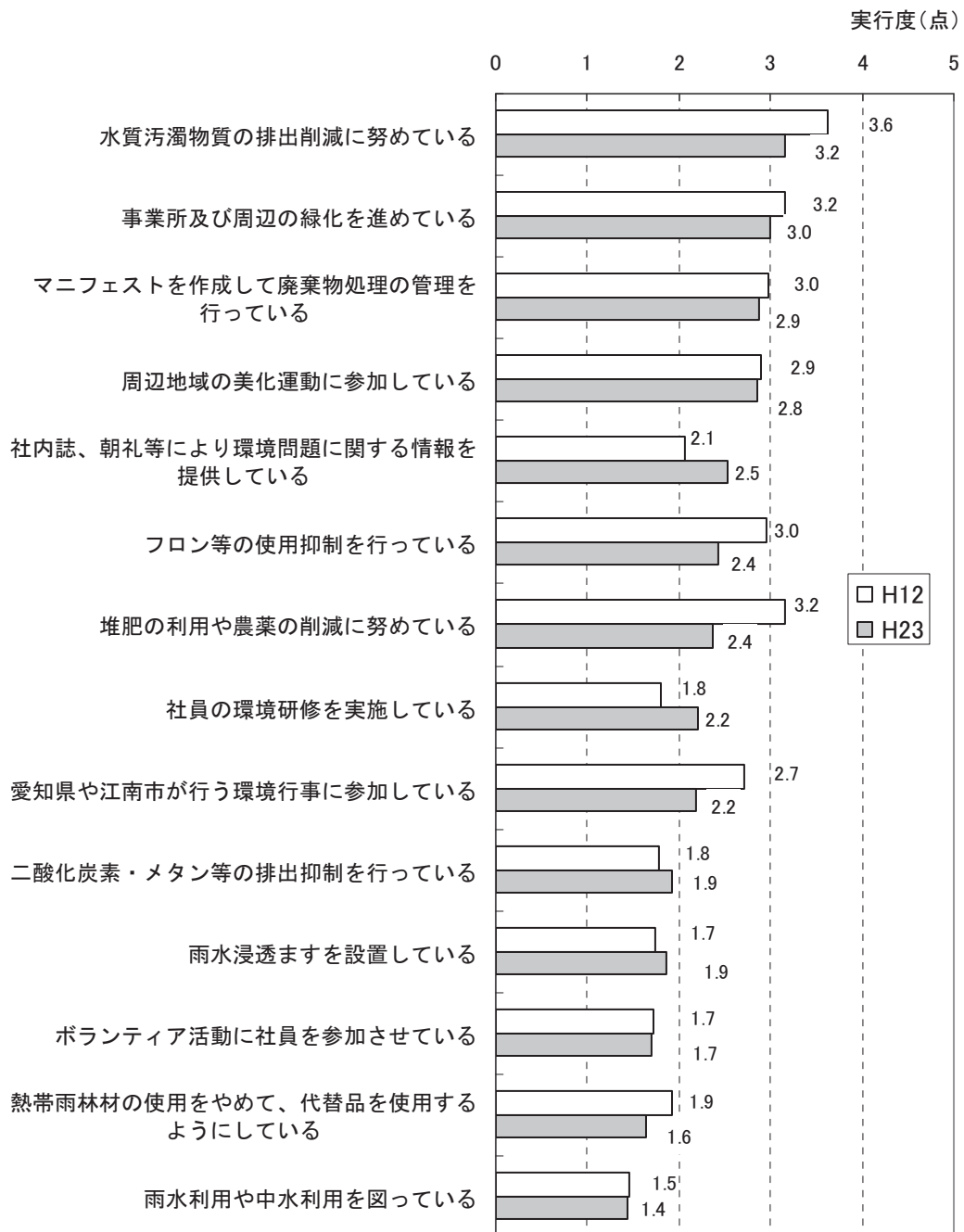
◇実行度が低いのは、「雨水利用や中水利用を図っている」で1.4点、「熱帯雨林材の使用をやめて、代替品を使用する」が1.6点、「ボランティア活動に社員を参加」が1.7点となっています。



平成12年に行った意識調査と今回（平成23年）の比較をしました。

◇前回より、実行度が最も高かったのは、「社内誌、朝礼等により環境問題に関する情報を提供している」で、次いで「社員の環境研修を実施している」でした。

◇前回より、実行度が最も低かったのは、「堆肥の利用や農薬の削減に努めている」で、次いで「愛知県や江南市が行う環境行事に参加している」でした。

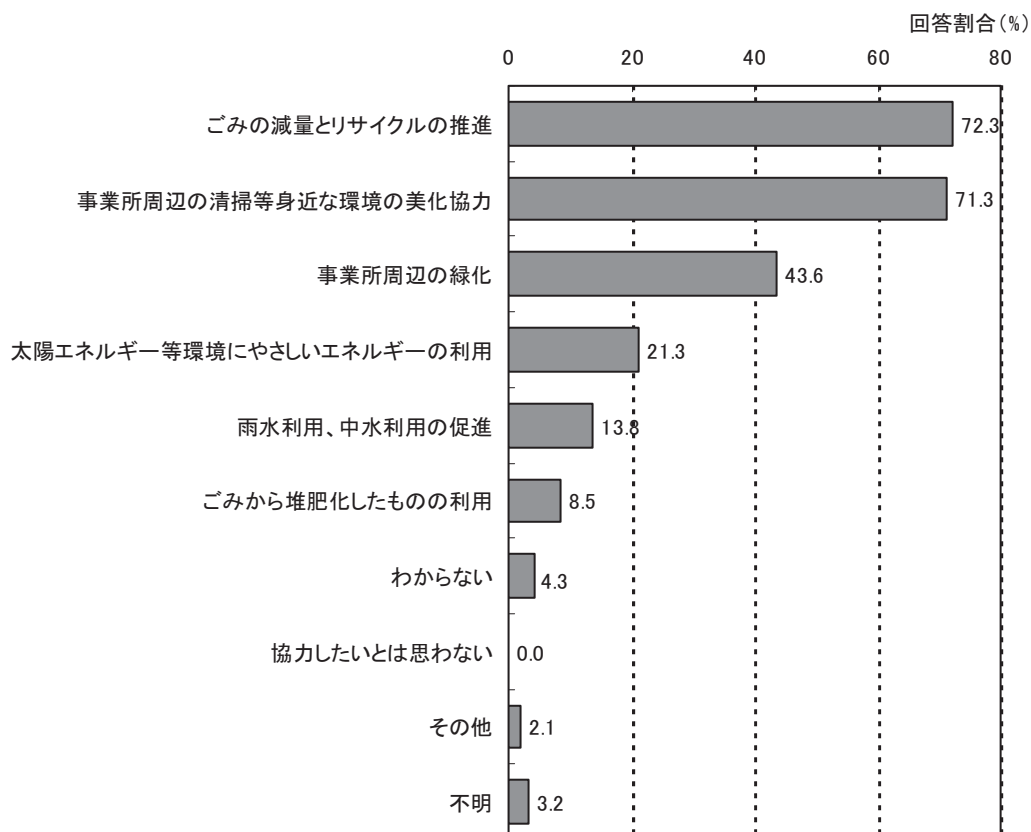


問3. 《環境保全に協力することについて》

貴事業所が環境保全のために協力できること、又は協力したいと考えていることは、どのようなことですか。次の中からあてはまるものをすべて選び、その番号に○をつけてください。

◇「ごみの減量とリサイクルの推進」が72.3%で最も多く、次いで「事業所周辺の清掃等身近な環境の美化協力」が71.3%、「事業所周辺の緑化」が43.6%となっています。

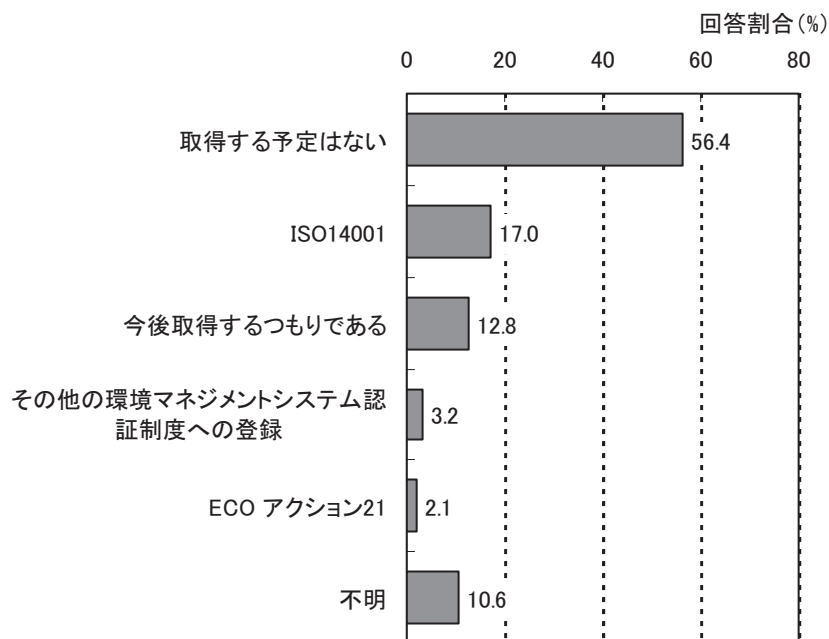
◇「その他」は、電動アシスト自転車の普及等でした。



問4. 《環境マネジメントシステムについて》

貴事業所では環境管理のための社内の制度（環境マネジメントシステム）を導入していますか。
次の中からあてはまるものをすべて選び、その番号に○をつけてください。

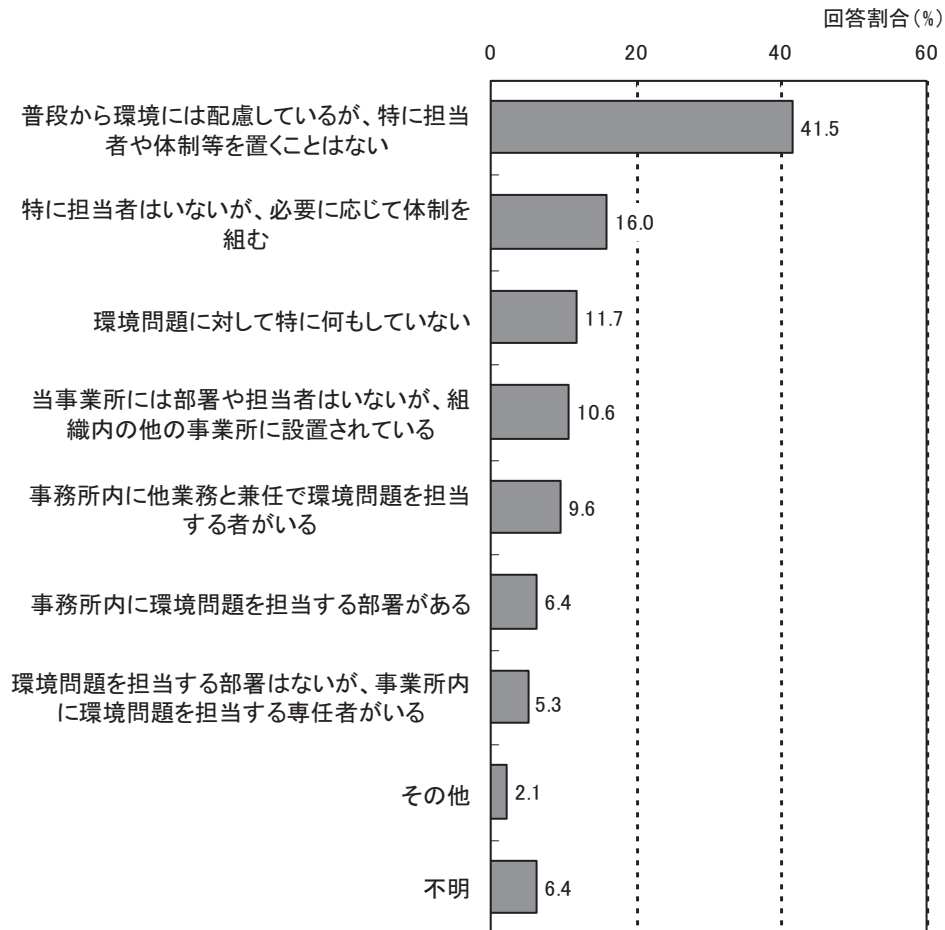
◇「取得する予定はない」が56.4%で最も多く、次いで「ISO14001」が17.0%、「今後取得するつもりである」が12.8%となっています。



問5. 《事業所での環境保全の体制について》

貴事業所ではどのような体制で環境保全に取り組んでいますか。次の中からあてはまるものをすべて選び、その番号に○をつけてください。

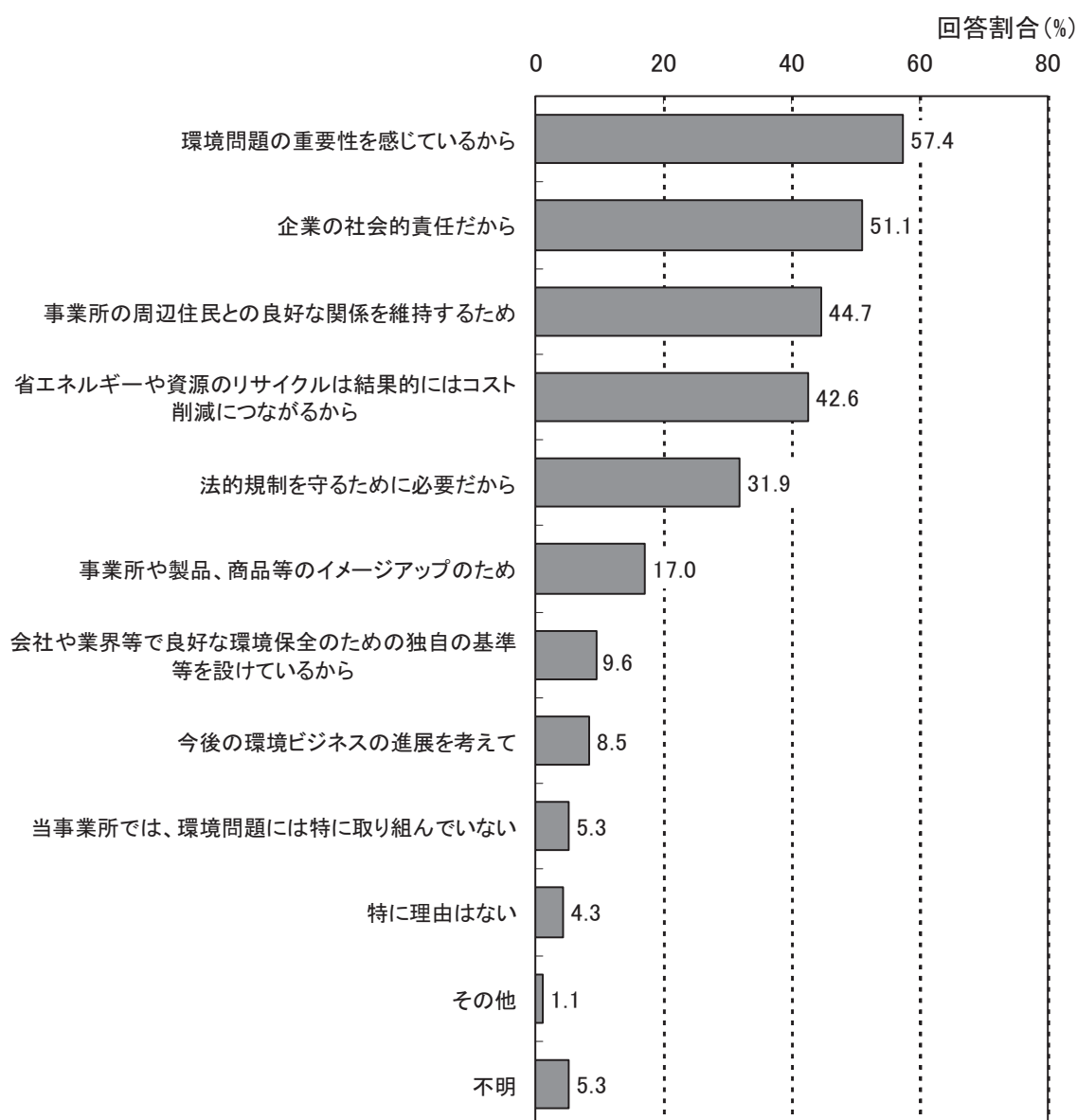
◇「普段から環境には配慮しているが、特に担当者や体制等を置くことはない」が41.5%で最も多く、次いで「特に担当者はいないが、必要に応じて体制を組む」が16.0%、「環境問題に対して特に何もしていない」が11.7%でした。



問6. 《環境保全に取り組む理由について》

貴事業所が環境保全に取り組む場合、その理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選び、その番号に○をつけてください。

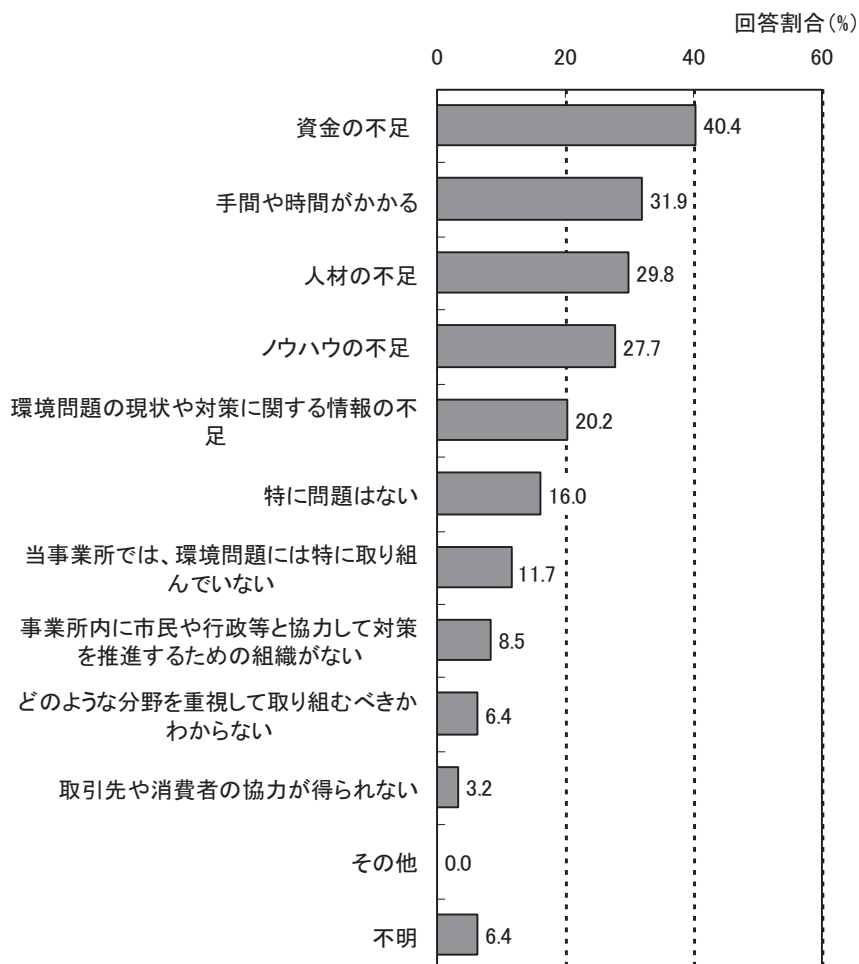
◇「環境問題の重要性を感じているから」が57.4%で最も多く、次いで「企業の社会的責任だから」が51.1%、「事業所の周辺住民との良好な関係を維持するため」が44.7%でした。



問7. 《環境問題への取組を進める上での問題について》

貴事業所が環境問題への取組を進める上で、問題となっているのはどのようなことですか。次の中からあてはまるものをすべて選び、その番号に○をつけてください。

◇「資金の不足」が40.4%で最も多く、次いで「手間や時間がかかる」が31.9%、「人材の不足」が29.8%となっています。

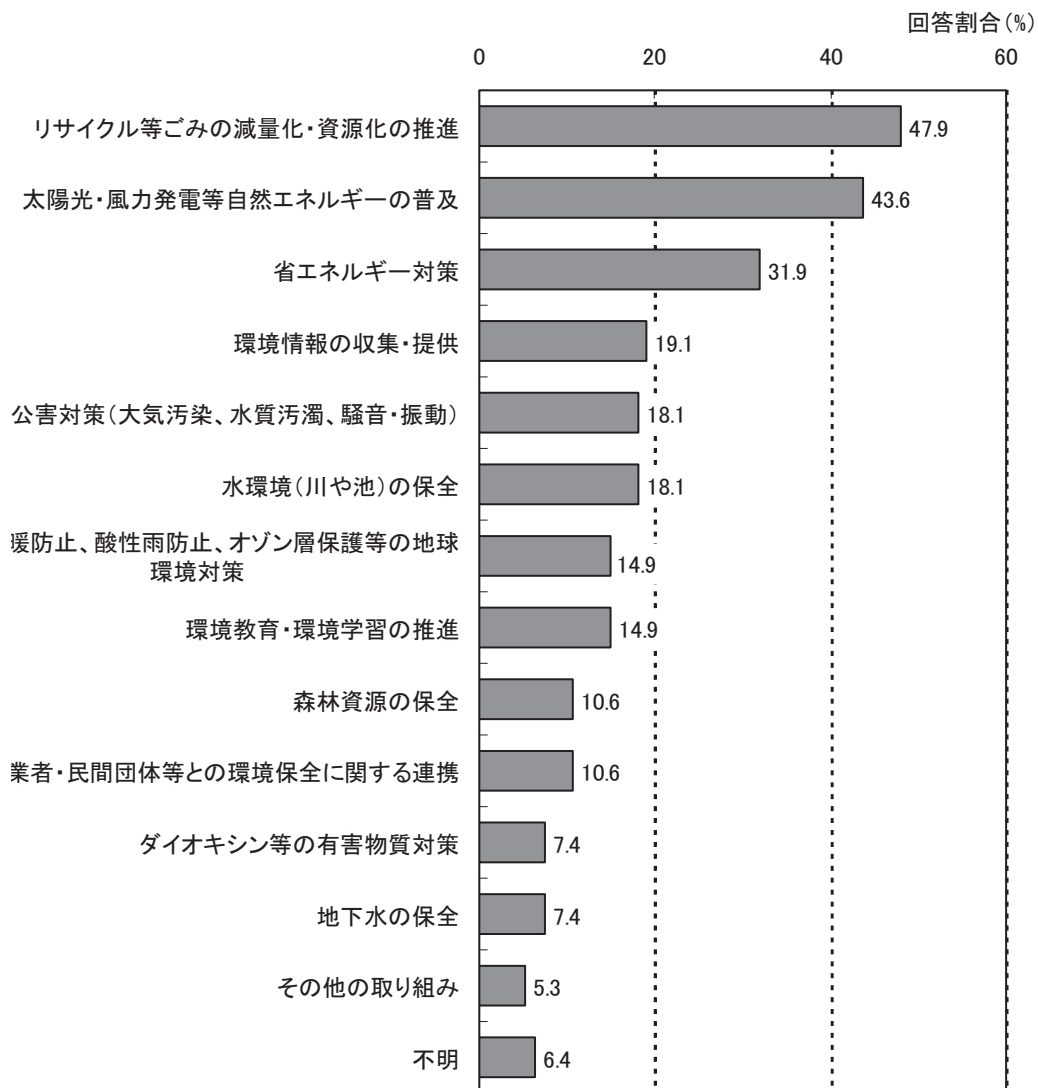


問8. 《行政に対しての要望について》

貴事業者が行政に対して、優先的に取り組んで欲しいものは何ですか。次の中からあてはまるものを3つ選び、その番号に○をつけてください。

◇「リサイクル等ごみの減量化・資源化の推進」47.9%が最も多く、次いで「太陽光・風力発電等自然エネルギーの普及」が43.6%、「省エネルギー対策」が31.9%でした。

◇「その他の取り組み」は、「冠水対策」、「バイオマス発電」、「ゴミ焼却による火力発電」、「ゴミの分別仕分けの合理性」等でした。

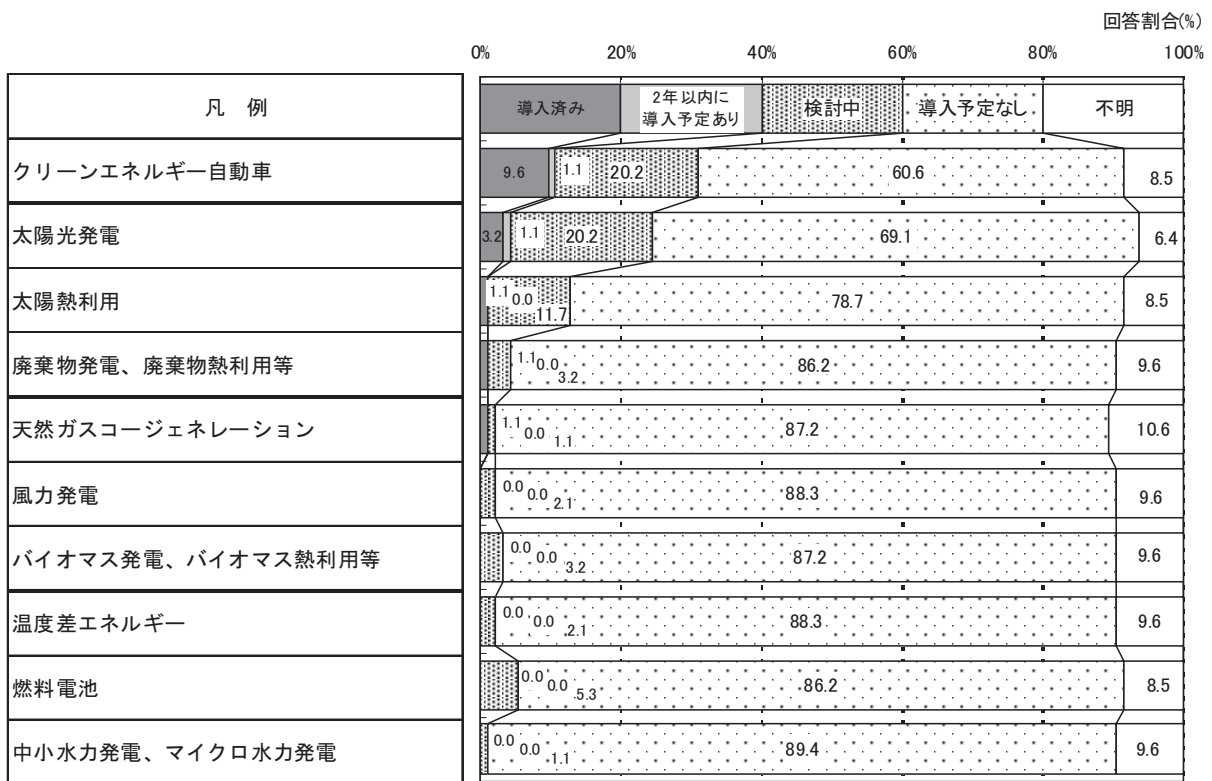


問9. 《新エネルギーの導入について》

貴事業所では新エネルギーを導入していますか。また今後導入する予定はありますか。項目ごとそれぞれあてはまる番号に○をつけてください。

◇「導入済み」が多いのは、「クリーンエネルギー自動車」で9.6%、次いで「太陽光発電」が3.2%でした。

◇「検討中」が多いのは、「クリーンエネルギー自動車」、「太陽光発電」で20.2%、次いで「太陽熱利用」が11.7%でした。



問10. 《自由意見》

貴事業所の環境保全のための行動に関するお考えをお聞かせください。また、江南市の環境についてご意見、ご要望があれば何でも結構ですからご記入ください。

以下に、頂いた意見を抜粋しました。

- ・太陽光発電をもっと普及させるために助成金を増額してほしい。
- ・業種毎の環境情報提供があると、社員も含めて理解も深まると思う。
- ・原発問題で今年は特に、省エネ・節電対策を打っている。会社内同様に一般家庭においても省エネ対策のお願いをしている。
- ・微力ながら省エネに務め電力使用の削減に尽力したい。
- ・企業内だけではなく江南市民が常に環境保全に感心が持てるようになるまで繰り返し市が広報活動をするしかないのではないのでしょうか。
- ・市内の企業や学校に対して自動車通勤を抑制し公共交通機関もしくは、自転車通勤を奨励するための補助金制度等を検討頂きたい。
- ・般若用水を定期的に掃除して下さい。時折悪臭が漂います。
- ・仕事柄、新エネルギーの導入を極力クライアントに奨めています。資金の関係で実行となると、なかなか導入されないのが現実です。もっと行政の援助があれば良いと思います。
- ・現在市が行っているリサイクル等ごみの資源化は続けて行って欲しい事だと思います。又有料化の大型電化製品は無料化にし、都市鉱山として大いに利用出来る様にして欲しい。
- ・ゴミを出さない体制にし、ゴミとなった場合も資源物として利用できる物は極力回収する。
- ・在庫・販売・運搬を行うことにより発生する環境影響を的確に捉え、地球温暖化ガスの抑制等、地球環境保全が企業活動における重要課題の一つであるとの認識のもと、全社員を挙げてISO14001の要求事項を順守し、継続的な改善と汚染の予防に取り組みます。